

Dell License Manager

バージョン **1.3** ユーザーズガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 - 05

Rev. A00

目次

1 Dell License Manager について.....	5
本リリースの新機能.....	5
2 Dell License Manager のインストール.....	6
システムの最小要件.....	6
制限.....	6
Dell License Manager のインストール.....	7
3 はじめに : Dell License Manager.....	8
Dell License Manager ユーザーインターフェース.....	8
メニューバー.....	9
タスク状態バー.....	10
ヘルプアイコン.....	10
Dell License Manager ビュー.....	10
システムビュー.....	10
ライセンスビュー.....	10
タスクビュー.....	11
ログビュー.....	11
ビューの使い方.....	11
ライセンスについて.....	11
ライセンスの説明.....	12
データのフィルタリング.....	12
フィルタオプション.....	13
4 ライセンス可能システムでの作業.....	14
ライセンス可能システムのインベントリ.....	14
インベントリ範囲の編集.....	15
インベントリ済みシステムの表示.....	15
システム情報の削除.....	15
レポートの保存.....	16
5 ライセンスの管理.....	17
ライセンスの取得.....	17
ライセンスのインポート.....	17
ライセンスの展開.....	18
展開するライセンスの選択.....	18
ライセンス展開先システムの選択.....	18
ライセンスアーカイブのエクスポート.....	19

レポートの保存.....	19
インベントリからのライセンスの削除.....	19
システムからのライセンスの削除.....	19
6 タスクとログの管理.....	21
タスクのキャンセル.....	21
ログエントリ.....	21
完了したタスクのクリア.....	21
Dell License Manager ログの表示.....	21
サポートログアーカイブの生成.....	22
7 トラブルシューティング.....	23
ライセンスのインポート.....	23
試用版ライセンスをインポートできない.....	23
ライセンスまたはアーカイブが破損している、または読み取り不能.....	23
ライセンスのインベントリ / 検出とライセンスの展開.....	23
無効な資格情報.....	23
証明書エラー.....	23
接続できない.....	24
ライセンス状態警告.....	24
複数のシステムに展開された個々のバインド済みライセンス.....	24
アップグレード中におけるオリジナルライセンスの欠落.....	25
Internet Explorer でヘルプコンテンツを表示することができない.....	25
8 システム – リファレンス.....	26
システムインベントリ表.....	26
システム詳細ペイン.....	27
検出 / インベントリウィザード.....	28
インベントリ範囲の編集.....	29
通信設定.....	29
9 ライセンス – リファレンス.....	32
ライセンスの管理.....	33
10 タスク – リファレンス.....	35
11 ログ – 参照.....	37

Dell License Manager について

Dell License Manager は、Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) ライセンスおよび Dell Chassis Management Controller (CMC) ライセンスのための 1 対多のライセンス展開およびレポートツールです。

Dell License Manager では、次のライセンスの展開およびバックアップが可能です。

- iDRAC7 または iDRAC8 Dell Remote Access Controller を搭載したすべてのデルの第 12 および 13 世代 Dell PowerEdge サーバー (yx2x および yx3x と表記) 上の iDRAC のライセンス。
 - **メモ:** yxxx 形式のサーバー名では、y はアルファベット (たとえば、M (モジュラー)、R (ラック)、または T (タワー)) を示し、x は数字を示します。たとえば、PowerEdge R720 は第 12 世代のラックマウント 700 シリーズサーバーです。
- Dell PowerEdge VRTX および PowerEdge FX または FX2s シャーシ上の CMC のライセンス。
- OpenManage Essentials の永久ライセンス。
- PowerEdge ストレージレッドのライセンス。

Dell License Manager は、ライセンス可能システムでインベントリを実行し、ライセンス状態と現在有効な管理コントローラ機能レベルをレポートすることもできます。

Dell iDRAC ライセンスを使用して、Enterprise iDRAC 機能セットで現在使用できる仮想メディアおよびリモートコンソールのサポートなどのサーバー管理機能を有効化します。

Dell CMC ライセンスを使用して、コンソール統合、リモートアクセス、マルチシャーシ管理、サーバークローニングなどのシャーシの管理機能を有効化します。

ライセンスは、dell.com/support/retail/lkm の Dell オンラインライセンスポータルからダウンロードすることができます。ライセンスはサーバーまたはシャーシの購入時に購入できます。

本リリースの新機能

Dell PowerEdge ストレージレッドのサポート。

Dell License Manager のインストール

システムの最小要件

項目	要件
ハードディスク	200 MB (最小)
RAM	2 GB (最小)
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 7 Microsoft Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 (SP2 以降) Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 64 ビットバージョンおよび 32 ビットバージョンの両方をサポートしています。
ネットワーク	100 Mbps 以上
画面解像度	1024 x 768
Microsoft .NET	4.5
リモート管理	Windows Remote Management (WinRM) 2.0 この機能は Windows 7 および Windows Server 2008 R2 に含まれています。 WinRM の前提条件は Microsoft Windows Update から入手できます。

制限

Dell License Manager は最大 3500 台のライセンス可能なシステムと、クラス B までの IP アドレス範囲 (65,536 アドレス) のインベントリをサポートします。

Dell License Manager のインストール

1. Dell License Manager を **dell.com/support** からダウンロードします。
2. **License Manager** Windows インストーラパッケージをダブルクリックします。
3. インストール用の言語を選んで、**OK** をクリックします。
4. ようこそ 画面で、**次へ** をクリックします。
5. **ライセンス契約** で、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択して **次へ** をクリックします。
6. **セットアップの種類** で、次のいずれかを実行します。
 - デフォルトのインストールパスを受け入れる場合は、**標準** インストールを選択し、**次へ** をクリックします。
 - 特定のプログラム機能を有効にする、およびインストールパスを変更するには、**カスタム** インストールオプションを選択し、**次へ** をクリックします。**カスタムセットアップ** で必要な License Manager 機能を選択し、ディスク容量をチェックして、Dell License Manager をインストールするための新しい場所を割り当てます。
7. **プログラムのインストール準備完了** 画面で **インストール** をクリックします。
InstallShield ウィザード完了 ページが表示されます。
8. License Manager を起動するには、**Dell License Manager を起動する** を選択してから **終了** をクリックします。

はじめに : Dell License Manager

Dell License Manager には、Windows デスクトップから次のいずれかの方法でアクセスできます。

- Windows 8、Windows Server 2012、またはそれ以降のオペレーティングシステム – マウスポインタを左下角に移動させて **スタート** アイコンをクリックします。スタート 画面で **License Manager** タイルをクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008、またはそれより前のオペレーティングシステム – スタート → **すべてのプログラム** → **Dell OpenManage アプリケーション** → **License Manager** → **License Manager** の順にクリックします。
- License Manager アイコンをダブルクリックします。

 **メモ:** Dell License Manager を実行するにはローカルの管理者権限が必要です。

ライセンスの展開を開始するための情報が記載された **はじめに : Dell License Manager** 画面が表示されます。

Dell License Manager ユーザーインターフェース

Dell License Manager には、メニューバー、タスク状態バー、ナビゲーションペイン、およびアクティブビューペインがあります。

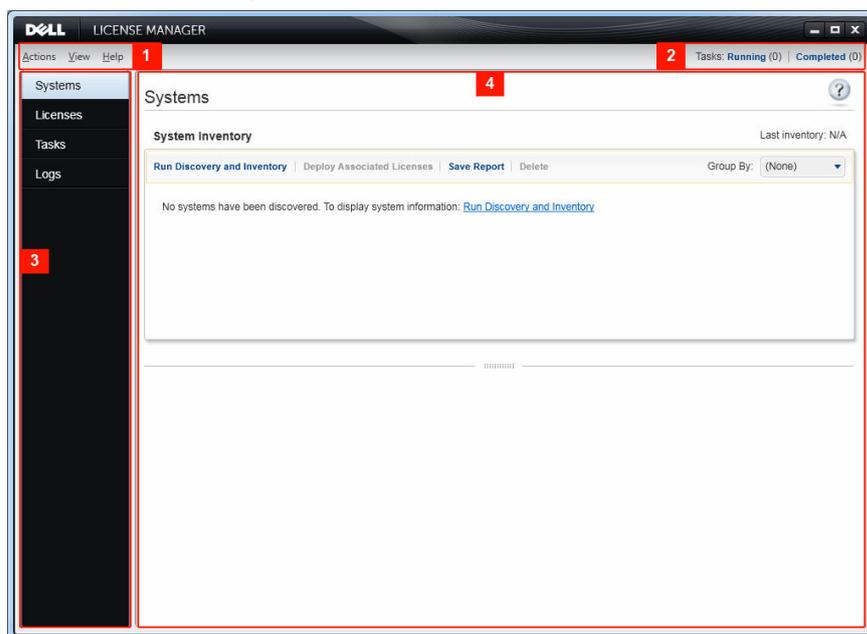


図 1. Dell License Manager ユーザーインターフェース

1. メニューバー
2. タスク状態バー
3. ナビゲーションペイン
4. アクティブビューペイン

メニューバー

メニューバーには、アクション、ビュー、およびヘルプメニューがあります。

アクションメニュー

アクションメニューは次で構成されています。

- **システムの検出とインベントリ** - 検出 / インベントリウィザードを起動します。[ライセンス可能システムのインベントリ](#)を参照してください。
- **Dell オンラインライセンスポータル**の起動 - このオプションを選択して dell.com/support/retail/lkm の Dell オンラインライセンスポータルにアクセスします。ポータルにアクセスする前に、お使いのシステムがインターネットに接続されていることを確認してください。このオンラインポータルでは、Dell ライセンスをダウンロードすることができます。
- **ライセンスのインポート** - インポートウィザードを起動します。[ライセンスのインポート](#)を参照してください。
- **ライセンスの自動展開** - インベントリ内にあるシステムにバインドされた未展開ライセンスのすべてを展開対象として選択し、ライセンス管理ウィザードを起動します。[ライセンスの展開](#)を参照してください。
- **ライセンスアーカイブのエクスポート** - インベントリ内の全ライセンスを含むアーカイブを圧縮ファイル形式で保存します。[ライセンスの管理](#)を参照してください。
- **レポートの保存** - システム、ライセンス、またはログビューからの、CSV、HTML、または XML 情報レポートを保存します。詳細については、それぞれのビューの項を参照してください。
- **ログのクリア** - アクティビティログからすべてのエントリを削除します。
 **メモ:** このオプションでは、タスクビューからのタスクに関する情報は削除されません。[タスクとログの管理](#)を参照してください。
- **終了** - Dell License Manager アプリケーションを閉じます。このオプションは現在のタスクすべてを終了します。

ビューメニュー

ビューメニューは次で構成されています。

- **システム** - システムビューに移動します。
- **ライセンス** - ライセンスビューに移動します。
- **タスク** - タスクビューに移動します。
- **ログ** - ログビューに移動します。
- **はじめに** - はじめに : Dell License Manager 画面を表示します。

ヘルプメニュー

ヘルプメニューには次が含まれます。

- **Dell License Manager ヘルプ** - Dell License Manager ヘルプにアクセスします。Dell License Manager ヘルプには、各ビュー内のヘルプアイコンをクリックしてアクセスすることもできます。
- **オンラインサポート** - dell.com/support の Dell テクニカルサポートにアクセスします。

- **サポートログアーカイブの生成** - Dell テクニカルサポートが問題のトラブルシューティングに使用できる、アクティビティログのアーカイブを生成します。
- **バージョン情報** - Dell License Manager のバージョン情報と著作権情報を表示します。

タスク状態バー

タスク状態バーには、実行中のタスクと完了済みのタスクの数が表示されます。タスク状態バーをクリックすると、タスクビューがアクティブになります。

ヘルプアイコン

ヘルプアイコンをクリックして  文脈依存のオンラインヘルプにアクセスします。

Dell License Manager ビュー

Dell License Manager は次の主要ビューをサポートしています。

- システムビュー
- ライセンスビュー
- タスクビュー
- ログビュー

システムビュー

システムビューは、ナビゲーションペインの **システム** リンクからアクセスできます。システムビューからは、次の操作が可能です。

- ライセンス可能なシステムの検出およびインベントリ
- ライセンスの展開
- システムライセンス状態の表示
- システムからのライセンスの削除

システムビューの詳細については、[ライセンス可能システムでの作業](#)を参照してください。

ライセンスビュー

ライセンスビューは、ナビゲーションペインの **ライセンス** リンクからアクセスできます。ライセンスビューからは、次の操作が可能です。

- ダウンロードしたライセンスの Dell License Manager へのインポート
- 使用可能ライセンスについての情報の表示
- ライセンスの展開
- ライセンスアーカイブのエクスポート

ライセンスビューの詳細については、[ライセンスの管理](#)を参照してください。

タスクビュー

タスクビューは、ナビゲーションペインの **タスク** リンクからアクセスできます。タスクビューからは、次の操作が可能です。

- アーカイブされたタスク結果の表示
- レポートの保存
- サポートログアーカイブの生成

タスクビューの詳細については、[タスクとログの管理](#)を参照してください。

ログビュー

ログビューは、ナビゲーションペインの **ログ** リンクからアクセスできます。ログビューからは、次の操作が可能です。

- アーカイブされたタスク結果の表示
- レポートの保存
- サポートログアーカイブの生成

ログビューの詳細については、[タスクとログの管理](#)を参照してください。

ビューの使い方

システム、ライセンス、タスク、およびログデータビューのグリッドでは、並べ替え、グループ化、およびフィルタリングが可能です。また、データグリッドに表示する列を選択することもできます。

- 並べ替え - 特定の列を並べ替えるには、列のヘッダをクリックします。ヘッダをもう一度クリックすると、列が逆の順序に並べ替えられます。
- グループ化 - アイテムをグループ化するには、グリッドヘッダのグループ分けメニューから、グループ化する列を選択します。
- フィルタリング - データ行をフィルタするには、フィルタする列を選択し、フィルタアイコンをクリックします。フィルタ操作を選択してから、フィルタ文字列を入力します。フィルタをクリアするには、フィルタアイコンを選択して **フィルタのクリア** をクリックします。
- 列の選択 - 表示する列を選択するには、**列の表示 / 非表示** アイコンをクリックします。選択した列が表示されます。

ライセンスについて

Dell ライセンスには次のプロパティが含まれます。

- 資格識別子 - 各ライセンスには、そのライセンスを固有に識別する資格 ID が含まれています。
- ライセンスの説明 - 説明には、ライセンスで有効になっている機能のレベルが示されます。詳細については、「[ライセンスの説明](#)」を参照してください。

ライセンスの説明

ライセンスの説明は、ライセンスで有効化されている機能のレベルを指定します。各機能レベルでサポートされる iDRAC 機能の詳細については、dell.com/support/retail/lkm のオンラインライセンスポータルにアクセスしてください。次のライセンスが利用可能です。

- 永久ライセンス
- 評価用ライセンス
- バインドされたライセンス
- アップグレードライセンス

永久ライセンス

永久ライセンスは iDRAC 機能を有効化する標準のライセンスで、有効期限はありません。

評価用ライセンス

評価用ライセンスは特定の iDRAC 機能を 30 日間試用でき、30 日の延長も可能です。

 **メモ:** 評価用ライセンスを Dell License Manager で展開またはアーカイブすることはできません。

バインドされたライセンス

Dell 永久ライセンスは特定のシステムのサービスタグにバインドされており、ライセンスはそれらのシステムにしか展開できません。

アップグレードライセンス

一部の Dell ライセンスはアップグレード可能です。アップグレードライセンスには、アップグレードされたライセンスの資格 ID を参照するアップグレード ID が含まれます。

ライセンス機能

各ライセンスには、ライセンスによって有効化される特定の iDRAC 機能セットが含まれています。ライセンスの説明には、そのライセンスに含まれる機能レベルの概要が示されます。

データのフィルタリング

Dell License Manager では、システム、ライセンス、タスク、および ログ ビューでデータをフィルタすることができます。データをフィルタするには、次の手順を実行します。

1. 列の見出しにマウスのポインタを置き、じょうご型アイコンをクリックします .
2. ドロップダウンリストからフィルタオプションを選択した後、フィールドに英数文字を入力し、**aA** ボタンをクリックして、検索が大文字小文字を区別しないようにします。
3. フィルタロジックを設定した後、**フィルタ** をクリックしてフィルタロジックを実行します。

 **メモ:** 検索をクリアするには、**フィルタのクリア** をクリックします。

フィルタオプション

フィルタオプション	説明
と同じ	同じロジックを作成します。
と異なる	異なるロジックを作成します。
で開始	テキスト群の最初の英数字に基づいたフィルタ検索を行います。フィールドに最初の英数字を入力してください。
で終わる	テキスト群の最後の英数字に基づいたフィルタ検索を行います。フィールドに最後の英数字を入力してください。
を含む	テキスト群に存在する英数字に基づいたフィルタ検索を行います。フィールドに英数字を入力してください。
を含まない	テキスト群に存在する英数字に基づいた検索に存在しないロジックを含めます。
に含まれる	英数文字列に存在するロジックを含めます。
に含まれない	英数文字列に存在しないロジックを含めます。

ライセンス可能システムでの作業

ライセンス可能システムのインベントリ

ライセンス可能システムの検出およびインベントリを実行すると、これらのシステムのライセンス状態を表示することができます。システム用ライセンスの展開は、システムのインベントリを実行してから行ってください。インベントリプロセスは、インストールされている評価用ライセンス以外のライセンスを、アーカイブ用に自動で取得します。

システムのインベントリを実行するには、次の手順を実行します。

1. Dell License Manager で、**システム** をクリックします。
2. **システム** で **検出およびインベントリの実行** をクリックします。
3. **検出 / インベントリウィザードの IP アドレスの選択** ページで、**範囲または IP の追加** をクリックします。
4. **インベントリ範囲の編集** ウィンドウで IP 範囲またはアドレスの名前を入力してから、次の操作のいずれかを実行します。
 - システムのインベントリに IPv4 範囲を使用するには、開始アドレス、終了アドレス、およびサブネットマスクを入力します。
 - システムのインベントリに個々の IP アドレスを使用するには、**個々のアドレス (IPv4、IPv6、またはホスト名)** を選択して、IP アドレスまたはホスト名を入力します。
 - システムのインベントリにテキストファイルを使用するには、**IP アドレス記載のテキストファイル** を選択して **ロード** をクリックし、そのテキストファイルに移動して選択します。
 -  **メモ:** 各行に IP アドレスまたはホスト名が含まれたテキストファイルを選択する必要があります。
 -  **メモ:** PowerEdge ストレージスレッドのインベントリを実行するには、シャージの IP アドレスのみを入力します。シャージのインベントリ実行中に、License Manager が自動的に PowerEdge ストレージスレッドのインベントリを実行します。
 -  **メモ:** PowerEdge ストレージスレッドについては、License Manager は現在のライセンスとしてホスト CMC のライセンスレベルを表示します。
5. **OK** をクリックします。

入力した IP アドレスまたは範囲が **IP アドレスと範囲** 表に追加されます。

テキストファイルを選択した場合は、そのテキストファイル内の IP アドレスとホスト名が検証され、無効な IP アドレスまたはホスト名が **検証レポート** に表示されます。

 -  **メモ:**
 - テキストファイルから IP アドレスが追加された後、これらは個々の IP アドレスとして表示されます。
 - テキストファイル内に重複した IP アドレスがある、または IP アドレスが **IP アドレスと範囲** 表にすでに存在している場合、それらのアドレスは無視されます。
 - テキストファイルを License Manager を使用して編集することはできません。
6. **検出 / インベントリウィザードの IP アドレスの選択** ページで **次へ** をクリックします。

7. 検出/インベントリウィザードの **IP スキャン設定** でユーザー資格情報を入力し、インターネット制御通知プロトコル (ICMP) と WS-Man オプションを設定してから **次へ** をクリックします。

 **メモ:** 証明書設定の情報については、[通信設定](#) を参照してください。

8. 検出/インベントリウィザードの **設定の確認** ページで次の操作を行います。
 - 入力した検出設定を確認します。設定を編集するには、**戻る** をクリックします。
 - タスクペインでインベントリタスクの進行状況を表示しない場合は、**起動後にタスクペインを表示する** オプションの選択を解除します。

9. 検出/インベントリの**実行** をクリックします。

タスクビューが表示されます。システムに移動してインベントリされたシステムを確認できます。

 **メモ:** 手順 8 で **起動後にタスクペインを表示する** オプションの選択を解除した場合は、システムビューが表示されます。

インベントリ範囲の編集

適切な検出/インベントリ表で、管理コントローラ IP アドレスを指定します。Dell License Manager では、インストールされているサーバーオペレーティングシステムまたはハイパーバイザーからライセンス情報のインベントリを実行することはできません。範囲を編集するには、次の手順を実行します。

 **メモ:** Dell License Manager から範囲を削除するには、表のエントリを選択して **選択項目の削除** をクリックします。

1. 検出およびインベントリの**実行** をクリックします。
2. 表のエントリを選択して **編集** をクリックします。
インベントリ範囲の**編集** ウィンドウが表示されます。
3. プリファレンスに基づいて **IP 範囲** または **アドレス名**、**IPv4 範囲**、または **個々のアドレス (IPv4、IPv6、またはホスト名)** を編集します。
4. **OK** をクリックして、変更を保存します。

インベントリ済みシステムの表示

インベントリ済みシステムを表示するには、**システム** を選択します。インベントリ済みシステムは **システムビュー** に一覧表示されます。システムインベントリ表にはインベントリ済みシステムの概要が表示され、システム詳細ペインには選択したシステムについての追加情報が表示されます。

 **メモ:** PowerEdge ストレージスレッドについては、License Manager は現在のライセンスとしてホスト CMC のライセンスレベルを表示します。

システム情報の削除

1. **システム** で削除するシステムを選択し、**削除** をクリックします。
2. プロンプトが表示されたら、**はい** をクリックして確定します。

レポートの保存

システム情報は、CSV、XML、または HTML 形式のレポートとして保存することができます。
レポートを保存するには、次の手順を実行します。

1. システム から、**レポートの保存** をクリックします。
2. フォルダの場所とファイル名を指定し、**保存ファイルの種類** でレポート形式を選択して **保存** をクリックします。
3. **レポートが正常に保存されました** で、**OK** をクリックします。

ライセンスの管理

Dell License Manager を使用して、ライセンス可能システムにライセンスを展開することができます。また、Dell License Manager は、バックアップ用のライセンスアーカイブのエクスポートもサポートしています。ライセンスビューからは、使用可能なライセンスの状態を表示できます。ライセンスを展開する前に、次を行います。

1. ライセンス可能システムのインベントリ。「[ライセンス可能システムのインベントリ](#)」を参照してください。
2. Dell オンラインライセンスポータルからのライセンスの取得。
3. Dell License Manager へのライセンスのインポート。
4. ライセンスを展開します。



メモ: ライセンスでの作業を行うには、Dell License Manager のナビゲーションペインで、**ライセンス** をクリックします。

ライセンスの取得

ライセンスは、dell.com/support/retail/lkm の Dell オンラインライセンスポータルからダウンロードすることができます。ライセンスはサーバーまたはシャシの購入時に購入できます。このライセンスは工場出荷時にインストールされます。ダウンロードしたライセンスパッケージには、圧縮ファイル形式 (ZIP 形式) のライセンスアーカイブが含まれており、このライセンスアーカイブには XML 形式のライセンスファイルが含まれています。

ライセンスのインポート

ライセンスをインポートする前に、ライセンスをダウンロードする必要があります。また、アーカイブされたライセンスをインポートすることもできます。ただし、期限切れのライセンスや評価版ライセンスはインポートできません。

1. Dell License Manager で、**処置** → **Dell オンラインライセンスポータルの起動** をクリックします。
2. Dell ライセンスポータルから、必要なライセンスをファイルシステムにダウンロードします。
3. **ライセンス** から、**ライセンスのインポート** を選択します。
4. **ライセンスの選択** で、ライセンスファイルをダウンロードした場所を参照し、ライセンスパッケージを選択して **開く** をクリックします。



メモ: システムに同じ権利 ID のライセンスがある場合は、ライセンス問題を生じる可能性があるとして重複するライセンスがフラグされます。

5. **ライセンスのインポート** で次の手順を実行します。

- a. 一致するインベントリ済みシステムに基づいて検証済みライセンスのリストをフィルタする場合は、**インベントリされたシステムと一致するライセンスのみをインポートする** を選択します。
- b. 有効なライセンスを選択します。
- c. **インポート** をクリックします。

ライセンスの展開

Dell License Manager は、使用可能なすべてのライセンスを検出されたシステムに自動的に展開することができます。または、展開用として特定のライセンスやシステムを選択することもできます。ライセンスを展開する前に、次を行います。

- ライセンス展開先システムのインベントリ。
- インベントリ済みシステムがライセンス可能であることの確認。
- Dell オンラインライセンスポータルからライセンスがダウンロード済みであることの確認。
- 必要なライセンスが Dell License Manager にインポートされていることの確認。

 **メモ:** 多くのシステムに同じ権利 ID のライセンスがある場合、重複しているライセンスにはライセンス供与についての潜在的な問題があることを示すフラグが付けられます。

ライセンスを自動展開するには、次の手順を実行します。

1. **ライセンス → ライセンスの展開 → ライセンスの自動展開** と選択します。
2. 操作選択ページで、**次へ** をクリックします。
3. 通信設定で管理コントローラの資格情報を入力し、通信設定を確認してから、**次へ** をクリックします。

 **メモ:** ライセンスに適合するシステムが検出されない場合は、**使用できる適合ライセンスはありません** というメッセージが表示されます。

 **メモ:** 展開はタスクビューで監視することができます。システムがアップデートされるたびに、システムビューとライセンスビュー内の対応する情報もアップデートされます。

展開するライセンスの選択

1. **ライセンス → ライセンスの展開 → 選択されたライセンスの展開** をクリックします。
2. 操作選択ページで、展開するライセンスを確認して **次へ** をクリックします。
3. 通信設定で管理コントローラの資格情報を入力し、通信設定を確認してから、**次へ** をクリックします。

 **メモ:** 展開はタスクビューで監視することができます。システムがアップデートされるたびに、システムビューとライセンスビュー内の対応する情報もアップデートされます。

ライセンス展開先システムの選択

1. **システム** で、ライセンスの展開先となるシステムを選択します。
2. **関連付けられたライセンスの展開** をクリックします。
3. システムで展開するライセンスを選択し、**次へ** をクリックします。
4. 通信設定で管理コントローラの資格情報を入力し、通信設定を確認してから、**次へ** をクリックします。



メモ: 展開はタスクビューで監視することができます。システムがアップデートされるたびに、システムビューとライセンスビュー内の対応する情報もアップデートされます。

ライセンスアーカイブのエクスポート

システム内で利用可能なすべてのライセンスのアーカイブをエクスポートできます。システムの修復時、および Dell ライセンスポータルにアクセスできない（セキュリティ制限されたネットワークのため）ときに、このアーカイブをバックアップとして使用できます。また、アーカイブされたライセンスを Dell License Manager のインストール環境間の転送に使用することもできます。Dell License Manager は、システムの検出中およびインベントリ中に工場出荷時にインストールされたライセンスを取得します。ライセンスをアーカイブすると、Dell オンラインライセンスポータルからダウンロードしたライセンスパッケージに似た、XML ライセンスファイルの圧縮ファイルを含むパッケージが作成されます。

ライセンスをエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. **ライセンス** から **アーカイブのエクスポート** をクリックします。
2. フォルダの場所を指定して **保存** をクリックします。
ライセンスが圧縮ファイル形式（ZIP 形式）でアーカイブされます。

レポートの保存

システム情報は、CSV、XML、または HTML 形式のレポートとして保存することができます。

レポートを保存するには、次の手順を実行します。

1. **システム** から、**レポートの保存** をクリックします。
2. フォルダの場所とファイル名を指定し、**保存ファイルの種類** でレポート形式を選択して **保存** をクリックします。
3. **レポートが正常に保存されました** で、**OK** をクリックします。

インベントリからのライセンスの削除

License Manager のインベントリからライセンスを削除するには、次の手順を実行します。

1. **ライセンス** から削除するライセンスを選択して **削除** をクリックします。
2. **ライセンス削除の確認** で、**はい** をクリックします。

システムからのライセンスの削除

ライセンスの削除 オプションでは、システムから特定のライセンス、またはすべてのライセンスを削除することができます。ライセンスを削除するには、次の手順を実行します。

1. **システム** をクリックします。
システム詳細 ペインに、システムにインストールされたライセンスが表示されます。
2. **インストール済みライセンス** から、削除するライセンスを選択します。

3. **ライセンスの削除** をクリックします。
ライセンスの削除 ウィンドウが表示されます。
4. 管理コントローラの資格情報を入力して通信設定を確認したら、**終了** をクリックします。

タスクとログの管理

タスクビューから、長時間実行されるタスクの進行状況を監視できます。タスクの状態表には、実行中のタスクと最近完了したタスクの概要が示されます。**結果** タブには操作結果の概要が示され、実行ログタブには現在選択されているタスクまたは操作の詳細ログが含まれています。

タスクのキャンセル

キャンセルしたタスクは、すでに実行中の操作が完了するまでは終了しません。そのため、キャンセルしたタスクが終了するまでには数分かかる場合があります。場合によっては、キャンセルが有効になる前にタスクが完了することもあります。

タスクをキャンセルするには、次の手順を実行します。

1. **タスク** からキャンセルするタスクを選択し、**選択したタスクのキャンセル** をクリックします。
2. **タスクのキャンセル** で、**はい** をクリックします。

ログエントリ

タスク結果が選択されている場合、**実行ログ** タブには選択されたタスクログの詳細情報が表示されます。タスク結果が選択されている場合、ログは、その特定の結果に関連するエントリにフィルタされます。ログエントリには、エントリの日時、ログコード、詳細ログメッセージが含まれています。

完了したタスクのクリア

タスクの実行中に Dell License Manager アプリケーションが閉じられると、それらのタスクは終了します。進行中のタスクをクリアすることはできません。

完了したタスクをクリアするには、次の手順を実行します。

1. **タスク** から、**完了したタスクのクリア** をクリックします。
2. **完了したタスクのクリア** で、**はい** をクリックします。

Dell License Manager ログの表示

保存された結果は、ログビューで確認できます。結果ログ表には、検出とインベントリ、ライセンスのインポート、ライセンスの展開または削除操作を含む Dell License Manager アクティビティの概要が表示されます。ログエントリペインには、現在選択されているアクティビティの詳細な結果が表示されます。Dell

License Manager は、概要ベースの情報をログに記録します。記録される情報には、状態、日時、固有識別子、およびログされたイベントのリストが含まれます。
ログを表示するには、**ログ** をクリックします。

サポートログアーカイブの生成

テクニカルサポートの指示に応じて **サポートログアーカイブの生成** をクリックします。アーカイブの保存先フォルダを選択し、**保存** をクリックします。このオプションは、各結果ログのテキストを含む zip アーカイブを生成します。指示に従ってログをテクニカルサポートに提供することができます。

トラブルシューティング

ライセンスのインポート

試用版ライセンスをインポートできない

メッセージ: Trial licenses are not supported by the license manager.

対応処置: iDRAC、CMC GUI、または RACADM CLI を介して試用版ライセンスを適用します。詳細については、iDRAC または CMC のマニュアルを参照してください。

ライセンスまたはアーカイブが破損している、または読み取り不能

メッセージ:

- Unable to read archive file.
- The archive does not contain any license files.
- Unable to parse license.
- The digital signature is invalid.

対応処置: ライセンスアーカイブを dell.com/support/retail/lkm の Dell オンラインライセンスポータルから再度ダウンロードします。

ライセンスのインベントリ / 検出とライセンスの展開

検出 / インベントリエラーを解決するときは、iDRAC または CMC GUI にアクセスすることによって、リモートアドレスが iDRAC 7 以降に対応していることを確認します。iDRAC または CMC GUI にアクセスするには、ウェブブラウザを使用してシステム IP / ホスト名に接続してください。システムに iDRAC 7 が含まれない場合、このエラーメッセージは無視してください。

無効な資格情報

メッセージ: Unable to establish communications - Access is denied.

対応処置: 正しい資格情報を入力します。iDRAC が共通の資格情報を共有していない場合は、異なる資格情報を使用して検出 / インベントリタスクを複数回実行する必要があります。

証明書エラー

メッセージ:

- Unable to establish communications - The SSL certificate contains a common name (CN) that does not match the hostname.

- Unable to establish communications - The SSL certificate is signed by an unknown certificate authority.
- Unable to establish communications - The SSL certificate could not be checked for revocation. The server used to check for revocation might be unreachable.
- Unable to establish communications - The SSL certificate is expired.

対応処置: 証明書名がホスト名に一致しない場合は、管理コントローラがインベントリされたアドレスに一致する証明書をインストールします。または、検出/インベントリ設定で証明書名の検証を無効化します。詳細については、「[通信設定](#)」を参照してください。

認証局が認識されない場合は、管理コンソールで Windows の信頼されたルート証明機関リストにその認証局を追加します。または、検出/インベントリ設定で認証局の検証を無効化します。詳細については、「[通信設定](#)」を参照してください。

証明書の失効状態をチェックできない場合は、証明書失効リストサーバーが管理コンソールに対して使用可能であることを確認します。または、検出/インベントリ設定で証明書失効リストのチェックを無効化します。詳細については、「[通信設定](#)」を参照してください。

証明書の有効期限が切れている場合は、新しい証明書を生成してインストールします。Dell License Manager では、有効期限が切れた証明書を使用して iDRAC に接続することはできません。

接続できない

メッセージ:

- Unable to ping system - Timed Out
- Unable to establish communications - Connection to host timed out

対応処置: 管理コントローラがネットワークに接続され、指定のアドレスが割り当てられていることを確認します。管理コンソールからシステムへのアクセスがファイアウォールの設定で許可されていることを確認します。

iDRAC または CMC GUI から、アドレスが、iDRAC 7 以降のバージョンを含むシステムに対応していることを確認します。GUI にアクセスするには、ウェブブラウザからシステム IP/ホスト名に接続します。システムに iDRAC 7 が含まれない場合、このエラーメッセージは無視してください。

ライセンス状態警告

複数のシステムに展開された個々のバインド済みライセンス

メッセージ: 同じ資格 ID を持つ 1 つ、または複数のライセンスが他のサービスタグにバインドされており、現在展開済みです。

対応処置: サービスタグによって指定された単一のシステムに、固有の資格 ID で識別される個別のバインド済みライセンスをインストールします。dell.com/support/retail/lkm の Dell オンラインライセンスポータルを使用して、ライセンスがシステムに適切に関連付けられていることを確認します。ポータルで指定されているもの以外の、システムに展開されているライセンスインスタンスを削除します。

システムインベントリ表内の資格 ID 列を並べ替え、またはフィルタすることによって、資格が展開されているシステムを特定することができます。不適切に展開されたライセンスは、管理コントローラ GUI を使用して削除できます。複数の永久ライセンスが同じシステムにインストールされている場合、それらの資格 ID は

表に表示されません。そのようなシステムは個別に点検し、システム詳細ペインにリストされたインストール済みライセンスを確認する必要があります。

アップグレード中におけるオリジナルライセンスの欠落

メッセージ: このライセンスはアップグレードとして指定されていますが、オリジナルライセンスが現在インストールされていません。

対応処置: オリジナルライセンスが別のシステムに再割り当てされていないことを確認します。システムで実行されたサービスが原因でオリジナルライセンスが存在していない場合、このメッセージは無視してください。

Internet Explorer でヘルプコンテンツを表示することができない

メッセージ: The Dell License Manager help content cannot be viewed in some versions of Microsoft Internet Explorer. (Microsoft Internet Explorer のバージョンによっては、Dell License Manager のヘルプコンテンツを表示することができません)。

対応処置: セキュリティ設定にあるアクティブスクリプトを有効にしてから、操作を再試行します。

1. Internet Explorer で、**ツール** → **インターネット オプション** をクリックします。
インターネットオプション ウィンドウが表示されます。
2. **セキュリティ** タブをクリックし、**レベルのカスタマイズ** をクリックします。
セキュリティ設定 ウィンドウが表示されます。
3. **設定** ペインで、**スクリプト作成** と **アクティブなスクリプト** が表示されるまで下にスクロールします。
4. **有効**、**OK** の順にクリックします。
セキュリティ設定 ウィンドウが表示されます。
5. インターネットオプション ウィンドウで **OK** をクリックします。

システム – リファレンス

システム から、システムの検出とインベントリ、ライセンスの展開、およびレポートの保存を行うことができます。

フィールド	説明
検出およびインベントリの実行	これを選択して、サポートされている管理コントローラの検出およびインベントリを行います。
関連付けられたライセンスの展開	これを選択してライセンスを展開します。
レポートの保存	これを選択してライセンスレポートを保存します。
削除	これを選択して、License Manager インベントリからシステムを削除します。

システムインベントリ表

システムインベントリ表にはライセンス可能なシステムの概要が表示され、各列を並べ替えたり、サイズ変更したりすることができます。システムを選択すると、そのシステムの追加情報を表示したり、タスクを実行することができます。また、複数システムの展開タスクまたは削除を選択することもできます。

フィールド	説明
選択済み	チェックボックスをクリックしてシステムを選択します。
システム名	インストールされているオペレーティングシステムのホスト名です (存在する場合)。
管理コントローラ	管理コントローラのホスト名です。リンクをクリックすると、Microsoft Internet Explorer を使用して管理コントローラの GUI が開きます。検出アドレスは括弧内に表示されます。
システムモデル	システムモデル名です。
アップグレード可能	ライセンスアップグレードの展開が可能な場合、メッセージが表示されます。
サービスタグ	各システムを一意に識別する工場出荷時に割り当てられたシステムサービスタグです。各ライセンスは、そのライセンスが展開されたシステムを示す特定のサービスタグにバインドされます。
インストールされた評価用ライセンス	該当する場合、インストールされている評価用ライセンスの状態が表示されます。

フィールド	説明
現在のライセンス	<p>管理コントローラによって現在サポートされている機能のレベルです。サポートされるレベルは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enterprise • Express • ブレード用 Express • ベーシック管理 <p>各機能レベルでサポートされる管理コントローラ機能の詳細については、dell.com/support/retail/lkm のオンラインライセンスポータルにアクセスしてください。</p> <p> メモ: ハードウェアによっては、サポートされない管理機能もあります。詳細については、ハードウェアマニュアルを参照してください。</p>
購入済みライセンス	システムにバインドされたすべての永久ライセンスの最高クラスのライセンスが表示されます。購入済みライセンスクラスの算出には、インストールされたライセンスと、インベントリ内にある展開待機中のライセンスの両方が含まれます。
資格 ID	固有のライセンス識別子です。
追加情報	使用許諾契約違反の可能性が検知された場合、その旨がこの列に表示されます。
最新のインベントリ	システムで最後にインベントリが行われた日時です。システムでライセンス操作が行われると、システムは自動で再インベントリを行います。
モジュラーシステム	サーバーまたはスレッドが取り付けられているモジュラーシステム (シャーシ) の名前です。
ノード ID	モジュラーシステム (シャーシ) に取り付けられているサーバーまたはスレッドの固有識別子です。通常は、サーバーのサービスタグまたはスレッドのサーバーノード識別子になります。
Slot (スロット)	モジュラーシステム (シャーシ) 内の、サーバーまたはスレッドが取り付けられているスロットです。

システム詳細ペイン

システム詳細ペインには、インストールされているライセンスと、システムのライセンス可能コンポーネントを含む、ライセンス可能システムの情報が表示されます。システムの詳細には、コンポーネント詳細とライセンス詳細が含まれます。

フィールド	説明
システム名	インストールされているオペレーティングシステムのホスト名です (存在する場合)。
管理コントローラ	管理コントローラのホスト名です。
モデル	システムモデルです。
サービスタグ	システムのサービスタグです。
検出アドレス	管理コントローラが検出された IP アドレスまたはホスト名です。

フィールド	説明
購入済みライセンス	システムにバインドされたすべての永久ライセンスの最高クラスのライセンスが表示されます。購入済みライセンスクラスの算出には、インストールされたライセンスと、インベントリ内にある展開待機中のライセンスの両方が含まれます。
現在のライセンス	システム上の現在のライセンスです。
インストール済みライセンス	システムにインストールされているライセンスのリストです。
ライセンスの削除	インストール済みライセンス グリッドでライセンスを選択し、ライセンスの削除をクリックして、システムにインストールされているライセンスを削除します。
選択済み	チェックボックスをクリックしてライセンスを選択します。
状態	ライセンス状態です。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑色 - ライセンスに問題はありません。 • 黄色 - ライセンスに問題がある可能性があります。 • 赤色 - ライセンスは機能していません。
説明	ライセンスの説明です。
資格 ID	固有のライセンス識別子です。
有効期限	ライセンスが失効する日付です (該当する場合)。
用語	ライセンス条件です。詳細については、「 ライセンスについて 」を参照してください。
購入日	ライセンスが購入された日付です。
インポート日	ライセンスがインポートされた日付です。

検出 / インベントリウィザード

これらの値を入力して、IP 範囲とホスト情報を設定します。

フィールド	説明
範囲または IP の追加	クリックして インベントリ範囲の編集 ウィンドウを開き、新しい検出範囲を追加します。
編集	既存の範囲を選択してクリックし、 インベントリ範囲の編集 ウィンドウを開きます。
選択の削除	クリックして選択した範囲を削除します。
インベントリ	チェックボックスをクリックして IP アドレスを選択します。
範囲 / アドレス名	範囲を示す固有の名前を入力します。
開始 / 個別アドレス	IPv4 アドレスの開始範囲、または個々の IP アドレスを入力します。

フィールド	説明
終了アドレス	IPv4 アドレスの終了範囲を入力します。
サブネットマスク (オプション)	サブネットマスクを使用して、ネットワークアドレスとブロードキャストアドレスをインベントリ試行から除外します。除外しないと、各アドレスがホストとして扱われます。
説明 (オプション)	説明を入力します。各インベントリ範囲には、クラス B までのネットワーク (65,536 個のアドレス) を含むことができます。

インベントリ範囲の編集

フィールド	説明
IP 範囲とアドレス名	範囲を示す固有の名前を入力します。
IP 範囲、個々のアドレス、またはアドレスのリストを入力します。	
IPv4 範囲	選択して IPv4 アドレス範囲を入力します。
開始アドレス	IPv4 アドレスの開始範囲、または個々の IP アドレスを入力します。
終了アドレス	IPv4 アドレスの終了範囲、または個々の IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	入力した IPv4 アドレスのサブネットマスクを入力します。
個々の IP アドレス (IPv4、IPv6、またはホスト名)	選択して個々の IP アドレスを指定します。
IP アドレス記載のテキストファイル	選択してから、各行に IP アドレスまたはホスト名が含まれるテキストファイルを使用してインベントリ範囲を作成します。
ロード	クリックして参照し、テキストファイルを選択します。
説明 (オプション)	説明を入力します。

通信設定

最適なパラメータ値は、ネットワークの特性によって異なります。通信設定では、資格情報、Ping (ICMP) 設定、および WS-Man 設定を入力することができます。

フィールド	説明
資格情報	検出 / インベントリを実行するには、資格情報を指定する必要があります。資格情報には、すべてのタスク実行での持続性ははありません。
管理コントローラユーザー名	管理コントローラユーザー名を入力します。Active Directory 認証を使用している場合は、ドメイン \ ユーザー名の形式でユーザー名を入力します。  メモ: システムインベントリの実行には、管理コントローラのログイン権限が必要です。
管理コントローラパスワード	管理コントローラパスワードを入力します。
Ping 設定 (ICMP)	
インベントリを実行する前には、Ping が正常に行われる必要があります。	有効化されると、WS-Man インベントリ通信を試行する前に、アドレスから Ping 応答が受信されます。これにより、インベントリプロセスのパフォーマンス向上が可能になります。ただし、ネットワークが Ping 要求をブロックする場合は、このオプションを無効化します。このオプションは、デフォルトで有効になっています。
再試行	Ping を再試行する回数です。この回数を超えると、インベントリからシステムが除外されます。デフォルトの再試行回数は 3 回 (合計で 4 回試行) です。
タイムアウト	Ping 応答を受信する時間です。この時間内に受信しないと、Ping 試行は失敗します。デフォルトは 5 秒です。
WS-Man 設定	Dell License Manager は、管理コントローラ WS-Man インタフェースを使用してインベントリ情報を取得します。
証明書名の検証	これが有効化されていると、インベントリ通信は、システムとの通信に使用されるアドレスと一致する証明書に基づいてそれ自体を証明するシステム限定で実施されます。iDRAC 証明書が検出アドレスと一致しない場合は、証明書名の検証を無効化して Dell License Manager が iDRAC と通信できるようにします。ただし、証明書名が検証されない場合、Dell License Manager はそのリモートシステムのアイデンティティを認証できません。
認証局の検証	これが有効化されていると、インベントリ通信は、信頼されたソースによって発行された証明書に基づいてそれ自体を証明するシステム限定で実施されます。iDRAC 証明書が信頼された認証局によって発行されたものでない場合は、検証を無効化して Dell License Manager が管理コントローラと通信できるようにします。ただし、認証局が検証されない場合、Dell License Manager はそのリモートシステムのアイデンティティを認証できません。 検証のため、Microsoft Windows の信頼されたルート認証機関リストの一部として、信頼された認証局が含まれるようにします。詳細については、Microsoft Windows マニュアルを参照してください。
証明書失効リストの検証	これが有効化されていると、失効した証明書を使用してそれ自体を証明するシステムとの通信は行われません。管理コンソールが証明書失効リストサーバーと通信できない場合は、このオプションを無効化して iDRAC と通信します。ただし、証明書失効リストが検証されない場合、Dell License Manager はそのリモートシステムのアイデンティティを認証できません。

フィールド	説明
再試行	一時的な WS-Man 通信エラーが発生した場合に行われる通信再試行の回数です。この回数を超えると、インベントリ試行は失敗します。デフォルトは 1 回（合計で 2 回試行）です。
タイムアウト	WS-Man ホストがデータの返信を開始する必要がある時間です。この時間内に開始されないと、通信試行は失敗します。デフォルトは 30 秒です。
ポート	iDRAC 上で設定された HTTPS 通信ポートです。デフォルトポートは 443 です。このポートでは、管理ステーションと iDRAC の間の HTTPS 通信がファイアウォール設定で許可されるようにしてください。

ライセンス – リファレンス

ライセンスからは、一致するライセンスのインポートと展開、エクスポートしたライセンスのアーカイブ化、およびレポートの保存を行うことができます。

フィールド	説明
ライセンスのインポート	これをクリックして、ファイルシステムからライセンスをインポートします。
アーカイブのエクスポート	これを選択して、ライセンスをアーカイブします。
ライセンスの展開	これを選択して、ライセンス可能システムに適合するライセンスを展開します。次のオプションが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 選択されたライセンスの展開 • ライセンスの自動展開
レポートの保存	これを選択して、ライセンスレポートを保存します。
削除	これを選択して、License Manager ローカルデータベースからライセンスを削除します。
選択済み	これをクリックしてライセンスを選択します。
説明	ライセンスの種類（Enterprise ライセンス、バインド済み、バインドされていない、またはアップグレード）の詳細です。
条件	ライセンス条件です。詳細については、「 ライセンスについて 」を参照してください。
バインドされたサービスタグ	ライセンスがバインドされているサービスタグです。このライセンスは、指定されたタグを持つシステムにしか展開できません。
展開済み	展開状態です。 <ul style="list-style-type: none"> • はい - ライセンスが展開済みです。 • いいえ - ライセンスは展開されていません。 • 不明 - 対応するシステムがインベントリにありません。
適合システム	このライセンスを割り当てることができるシステムです。 <ul style="list-style-type: none"> • はい - 関連するシステムがインベントリにあることを示します。 • いいえ - 関連するシステムがインベントリにないことを示します。
インポート元	ライセンスが追加された方法です。 <ul style="list-style-type: none"> • インポート済み - ライセンスは Dell License Manager にインポートされました。 • 取得済み - ライセンスはインベントリの実行中に取得されました。
購入日	ライセンスが購入された日付です。

フィールド	説明
インポート日	ライセンスがインポートされた日付です。
ライセンス	ライセンス識別番号とそのライセンスの詳細です。
資格 ID	固有のライセンス識別子です。
アップグレード ID	アップグレードライセンスの場合、アップグレードが適用されるライセンスの ID です。
有効期限	ライセンスが失効する日付です (該当する場合)。
ライセンス機能	選択されたライセンスによってサポートされる機能です。

ライセンスの管理

フィールド	説明
選択済み	これをクリックして、ライセンスを選択します。
操作状態	ライセンスが展開可能かどうかについての詳細情報です。
資格 ID	ライセンスの ID です。
ライセンスの説明	ライセンスの説明です。
システム	ライセンスの展開先となるシステムの名前です。使用可能な場合はホスト名が使用され、ホスト名が使用できない場合は iDRAC 名が使用されます。
サービスタグ	各システムを一意に識別する工場出荷時に割り当てられたシステムサービスタグです。各ライセンスは、そのライセンスが展開されたシステムを示す特定のサービスタグにバインドされます。  メモ: 既にシステムに展開されているライセンスは、操作選択ページには表示されません。
アクティブライセンス	システムにインストールされている最高クラスのライセンスのクラスと条件です。
資格情報	
管理コントローラユーザー名	管理コントローラユーザー名を入力します。Active Directory 認証を使用している場合は、ドメイン\ユーザー名の形式でユーザー名を入力します。  メモ: システムインベントリの実行には、管理コントローラのログイン権限が必要です。
管理コントローラパスワード	管理コントローラパスワードを入力します。

フィールド	説明
WS-Man 設定	Dell License Manager は、管理コントローラ WS-Man インタフェースを使用してインベントリ情報を取得します。
証明書名の検証	これが有効化されていると、インベントリ通信は、システムとの通信に使用されるアドレスと一致する証明書に基づいてそれ自体を証明するシステム限定で実施されます。iDRAC 証明書が検出アドレスと一致しない場合は、証明書名の検証を無効化して Dell License Manager が iDRAC と通信できるようにします。ただし、証明書名が検証されない場合、Dell License Manager はそのリモートシステムのアイデンティティを認証できません。
認証局の検証	これが有効化されていると、インベントリ通信は、信頼されたソースによって発行された証明書に基づいてそれ自体を証明するシステム限定で実施されます。iDRAC 証明書が信頼された認証局によって発行されたものでない場合は、検証を無効化して Dell License Manager が管理コントローラと通信できるようにします。ただし、認証局が検証されない場合、Dell License Manager はそのリモートシステムのアイデンティティを認証できません。 検証のため、Microsoft Windows の信頼されたルート認証機関リストの一部として、信頼された認証局が含まれるようにします。詳細については、Microsoft Windows マニュアルを参照してください。
証明書失効リストの検証	これが有効化されていると、失効した証明書を使用してそれ自体を証明するシステムとの通信は行われません。管理コンソールが証明書失効リストサーバーと通信できない場合は、このオプションを無効化して iDRAC と通信します。ただし、証明書失効リストが検証されない場合、Dell License Manager はそのリモートシステムのアイデンティティを認証できません。
再試行	一時的な WS-Man 通信エラーが発生した場合に行われる通信再試行の回数です。この回数を超えると、インベントリ試行は失敗します。デフォルトは 1 回（合計で 2 回試行）です。
タイムアウト	WS-Man ホストがデータの返信を開始する必要がある時間です。この時間内に開始されないと、通信試行は失敗します。デフォルトは 30 秒です。
ポート	iDRAC 上で設定された HTTPS 通信ポートです。デフォルトポートは 443 です。このポートでは、管理ステーションと iDRAC の間の HTTPS 通信がファイアウォール設定で許可されるようにしてください。変更を保存して検出 / インベントリを続行するには、 次へ をクリックします。
タスク設定	
起動後のタスクペインの表示	これを選択して、 タスク にタスクの進行状況を表示します。

タスク - リファレンス

タスクからは、検出とインベントリ、およびライセンス展開タスク情報を表示することができます。

フィールド	説明
選択したタスクのキャンセル	これを選択して、リストされたタスクをキャンセルします。
完了したタスクのクリア	これを選択して、完了したタスク情報をページします。
状態	タスクの状態の種類がリストされます。 <ul style="list-style-type: none"> 正常 - タスクが正常に完了しました。 失敗 - タスクは完了されていません。
ID	タスクに割り当てられた固有の ID です。
タスク	タスクの説明です。
概要	タスクの状態の説明です。
進行状況	タスクの進行状況のインジケータです。
開始時刻	タスクの開始時刻です。
終了時刻	タスクの終了時刻です。
タスク結果	状態、操作、および結果情報を示します。これには、次のタブがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 結果 実行ログ
状態	<ul style="list-style-type: none"> 緑色 - タスクが正常に完了しました。 黄色 - タスクが警告を伴って完了しました。 赤色 - タスクがエラーを伴って完了しました。
操作	操作の説明です。
結果	操作結果の概要です。 <p> メモ: 検出 / インベントリの IP 範囲の結果を生成するとき、通信が確立されていないアドレス、またはライセンス不可能なシステムが検出されたアドレスについての結果エントリは作成されません。このようなシステムの結果情報については、実行ログタブを参照してください。</p>
実行ログ	実行ログ タブは、選択されたタスクログからの詳細情報を提供します。

ログ参照

ログからは、License Manager アクティビティの表示、ログ結果のクリア、レポートの保存を行うことができます。

フィールド	説明
ログのクリア	これを選択して、ログに記録された情報をページします。
サポートログアーカイブの生成	これを選択して、ログに記録された情報をアーカイブします。
レポートの保存	これを選択して、ログレポートを保存します。
結果	リストされたタスクの状態の種類です。 <ul style="list-style-type: none">• 正常 - タスクが正常に完了しました。• 失敗 - タスクは完了されていません。
ID	タスクに割り当てられた固有の ID です。
概要	ログに記録されたイベントの概要説明です。
日付	タスクが完了した日付および時刻です。
ログエントリ	ログに記録された情報の詳細です。